

MLC310 中国語学概論

3年 1,2クォーター

| | |
|-------|-------|
| 担当教員 | 永井 崇弘 |
| 授業形態 | 講義 |
| 単位数 | 2 |
| 曜日・時限 | 未定 |

授業概要

この授業は中国語学の概論で、これまでの中国語学習で学んだ中国語の知識について、その背景や仕組みなどをより詳しく学ぶものです。この授業によって、これまで学んだ中国語の知識や言語現象に対して理論づけを行い、今後の中国語学習や研究に役立てるものとします。この授業では、特に漢民族の民族共通語の成立過程、印欧語との比較における漢語（中国語）の特徴、伝統的な漢語の研究法などを中心に学びますが、それに関連する文化的事象など中国語学の周辺についても理解を深めます。

到達目標

漢民族の共通語成立までの過程を歴史的に理解する。また、漢語の特徴や現代中国語の規範化、伝統的な漢語研究に関する知識を習得します。

先修科目

中国語 I, II, III, IV

教科書・参考資料等

教科書

プリントを配布します。

参考書

- 中国語学研究会 1969. 『中国語学新辞典』。光生館
太田辰夫 1988. 『中国語史通考』。白帝社
中国語学大辞典編委会 1991. 『中国語学大辞典』。江西教育出版社
王伝徳, 尚慶栓 1996. 『漢語史』。済南出版社
向熹 1998. 『簡明漢語史（上下）』。高等教育出版社
申小龍 2005. 『語言学綱要』。復旦大学出版社
何九盈 2006. 『中国古代語言学史（新增訂本）』。北京大学出版社
本社編 2011. 『語言文字規範手冊』。語文教育出版社

授業の方法

この授業はプロジェクターを用いた講義形式にて行いますが、随時予習箇所について受講者に質問を行います。

成績評価

平常点と期末試験を総合して評価します。なお、平常点には授業態度、予習の状態などが含まれます。

成績

平常点（40%）と期末試験（60%）を総合して評価します。

授業スケジュール

第1回：授業概要、中国語学研究のために

授業の進め方や評価方法などのオリエンテーションを行う。残余の時間で中国語の研究領域の概説を行う。

第2回：中国語の名称（中国語の名称、漢民族と中国語）

中国語の名称について通時的な考察を行うとともに、中国語による名称の地域による違いについて理解を深める。また漢語（中国語）を使用する漢民族についての考察も行う。

第3回：中国語の歴史区分

中国語研究における中国語の歴史区分について考察を行う。現在の通説をはじめ、日本および中国の諸説を通時的に考察する。

第4回：漢民族共通語の成立（雅言～文言の成立）

漢民族の言語である漢語（中国語）の成立過程を古代から考察する。ここでは雅言の成立から文言の成立までのその過程を理解する。

第5回：漢民族共通語の成立（古官話～近世の官話）

第4回に続いて漢民族の言語である漢語（中国語）の成立過程を考察する。ここでは古官話の成立から近世の官話の成立までのその過程を理解する。

第6回：漢民族共通語の成立（官話～普通話、欧米人と中国語）

第5回に続いて漢民族の言語である漢語（中国語）の成立過程を考察する。ここでは近代の官話から普通話成立までの過程を理解する。また近代における欧米人の中国語に対する理解についても考察を行う。

第7回：中国語の特徴

現代中国語を印欧語と比較し、その特徴について考察する。

第8回：中国語の音節構造と表音方法（声母）

中国語学習では詳しく言及されなかった中国語の音節構造のしくみやその特徴、さらに表音方法であるピンインの特徴について考察する。ここでは特に声母を中心に考察する。

第9回：中国語の音節構造と表音方法（韻母）

中国語学習では詳しく言及されなかった中国語の音節構造のしくみやその特徴、さらに表音方法であるピンインの特徴について考察する。ここでは特に韻母を中心に考察する。

第10回：中国語の音節構造と表音方法（声調、表音方法）

中国語学習では詳しく言及されなかった中国語の音節構造のしくみやその特徴、さらに表音方法であるピンインの特徴について考察する。ここでは特に声調と表音方法を中心に考察する。

第11回：現代中国語の規範化1

現代中国語の教学・学習に不可欠な規範化について、「中華人民共和国国家通用语言文字法」を通して考察する。

第12回：現代中国語の規範化2

現代中国語の教学・学習に不可欠な規範化について、簡化字と常用字および読音に関する規定を通して考察する。

第13回：現代中国語の規範化

現代中国語の教学・学習に不可欠な規範化について、ピンインに関する規定を通して考察を行う。

第14回：伝統的漢語研究1

中国における伝統的な漢語研究について考察を行う。ここでは儒教や科挙といった関連する事項についてもあわせて理解を深める。

第15回：伝統的漢語研究2

中国における伝統的な漢語研究について、音韻論の変遷を中心に考察を行う。

第16回：期末試験

筆記試験，制限時間80分

事前・事後学習

事前学習として資料にある用語について事前に下調べしておくとともに、疑問点等を整理しておいてください。事後学習として復習を行い修得した知識を定着させるとともに、予習における疑問点について再度確認を行って下さい。